



吹田市議会 すいた市民自治 〒564-8550 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号
TEL:06-6384-1231 (代表) E-mail : info@shimin-jichi.net URL http://shimin-jichi.net

「すいた市民自治」会派は「市民が主役の社会」の実現をめざし、活動してまいります。



議長席の西川たけお副議長と
代表質問をするいけぶち佐知子議員

代表質問項目

- 地方交付税不交付団体から交付団体へ変わったことと財政の持続可能性
- 財政健全化計画(案)の取り組み
- 景気低迷下での市内中小企業の資金繰りに関する現状と対応
- 水道事業
- 市民病院の建て替え
- 子育て支援
- 行政手続きにおけるリスクマネジメント
- まちのにぎわいと地域コミュニティ
- 自治会等、従来からの地域団体や地縁団体への支援
- 都市景観を育てる・創る 建設事業の環境配慮行動
- 集中豪雨時の雨水対策
- 一般廃棄物収集運搬業務の委託業者への経営適正化指導
- 校区と自治会組織の矛盾と行政の信頼性・継続性

「すいた市民自治」会派議員からのメッセージ



「いけぶち佐知子」は、
「未来にまっすぐ 市政にまっすぐ」
をモットーに、下の基本理念のもと、
市民自治を目指して、
まっすぐに取り組んでいます。



安心して暮らせる町、その原点は平和です。
戦後の日本を育んできた「平和」と「自由」、
そして「民主主義」を大切にしていきます。
安心して暮らせる町「吹田市」
その実現を目指した「5つの約束」です。

いけぶち佐知子

- ☀ 子どもも大人も、女性も男性も一人ひとりが大切にされる社会を
- ☀ 安心して子どもを産み育て安心して老いることのできる地域を
- ☀ 行政主導のまちづくりから市民が真ん中のまちづくりへ
- ☀ 環境・歴史文化と共生し、都市景観を"育てる・創る"持続可能なまちづくり
- ☀ 市民の目線で行財政の無理、無駄チェック 日々の活動を発信しています。



ブログもどうぞ
<http://blog.goo.ne.jp/gogonet21/>

西川たけお

- ☀ 市財政の健全化を強く提言していきます 人口減少時代に適合した組織のスリム化をはかります。
- ☀ 徹底した市政へのチェックを行います 今必要なこと、将来のために必要なこと、を「選択と集中」で明確にします。
- ☀ 開かれた議会の実現に努めます 「知る権利」から「参加・参画する権利」へと推し進めます。
- ☀ 地域や市民の声を伝えます 生活弱者が安心して暮らせる施策を充実します。
- ☀ 故郷といえる町づくりをします 今ある自然を大切に、地域ぐるみで次代に伝えます。



ブログもどうぞ
<http://ameblo.jp/nishikawatakeo/>

9月議会質問 (いけぶち佐知子)

老朽化した市民病院 建て替えは？

質問 建築後30年近くになり施設老朽化が進んでいる市民病院の耐震強度は？また、病院内で建て替え検討が始まったと聞いているが、今の検討状況は？

回答【病院事業管理者】1996年の耐震診断の結果、耐震指標(Is値)は0.61～1.28と判定基準0.6以上を満たしていた。しかし、総務省消防庁は、防災拠点となる病院などの建物は重要度に応じて一般建物の1.25～1.5倍以上の耐震強度(Is値=0.75～0.9)を必

要としており、**市民病院では0.75を下回る箇所が5箇所あるので、防災拠点としては不十分**。2010年8月、病院内に「吹田市新市民病院基本構想・基本計画策定会」を設置し、病院経営改善の視点、公立病院として地域医療で担うべき医療機能や医療ニーズなど、新病院の方向性について検討。2010年度末、同基本構想・基本計画を策定し、2011年度以降に新病院基本設計の策定の予定。

経営赤字の市民病院 このままでよいのか？

質問 公立病院の果たすべき目的は、地域に必要な医療のうち、たとえば救急医療など採算性等の面から民間医療機関による提供が困難な医療を提供することである。市民病院は国が定める「地方公営企業繰出金基準」に基づいて一般会計から繰り入れているが、それでも赤字が続いている。国や大阪府は公立病院の経営形態の見直しとして、「公営企業法の全部適用(市民病院は適用済み)」「独立行政法人化」「指定管理者制度」「民間への譲渡」を提案している。市民病院の今後のあり方について、どのように考えているのか？

回答【病院事業管理者】「救急医療」「高度医療」「小児医療」「リハビリテーション医療」「障がい者歯科」は公立病院として今後も実施していく必要があると考えており、経営改善と経営の安定化に努めたい。また、大阪大学附属病院や国立循環器病研究センターなど、**高度先進的な医療を行う病院との病病連携、地域の診療所や開業医との病診連携を図り、市民にとって安心できる医療を継続して提供できる地域の基幹病院としての役割を果たしていきたい**。

コメント

市議会でも市民病院について検討するため、9月議会において「市民病院のあり方検討特別委員会」を設置しました。

〈参考〉吹田市民病院収益的収支の推移

(単位:千円)

	H19(2007)	H20(2008)	H21(2009)
病院事業収益 A	8,724,347	9,273,005	9,451,060
内、一般会計負担金・補助金*	760,824	820,174	894,137
病院事業費用 B	9,738,053	9,941,583	9,743,217
経常損益(△損失)C=A-B	△1,142,285	△805,903	△292,157
特別利益(△損失)D	128,579	137,325	△506,705
当年度純損益(△損失)F=C+D	△1,013,706	△668,578	△798,862
繰越損益 (前年度損益+当年度純損益)	△4,527,597	△5,196,175	△5,995,037

*一般会計から病院事業会計に「救急医療」「小児医療」「リハビリテーション」「保健衛生行政」「高度特殊医療不採算分」「研究研修」の負担金及び「企業債償還利息」などの補助金を繰り入れています。また、H20までは特別利益として企業債償還元金を一般会計から繰り入っていました。

9月議会質問 (いけぶち佐知子)

なぜ市民体育館駐車場の有料化を先行するのか？

質問 2007年度に「使用料・手数料及び自己負担金改定に関する基本方針」を策定、2008年度から改定予定だったが、2007年12月議会において「市民への周知が不徹底」「コスト削減努力が不足」「諸物価高騰の折、市民負担増大時の改定は不適切」と議会で指摘し、手数料は改定したが使用料の改定は見送られたままである。使用料の見直しがまだなのに、なぜ今回実施の市民体育館駐車場や検討中の公園駐車場だけ先に有料化するのか？

回答【政策推進部長】市施設の駐車場については、混雑緩和、市民の利便性向上

のため、利用状況、施設形態、課題等を整理したうえで適正利用の推進に取り組んでおり、今回**とくに緊急性や必要性が強いことから、他の料金改定を待たず、10月1日から山田・目俵市民体育館の駐車場の有料化を先行実施することとした**。歳入の確保と「受益と負担の公平性の確保」の観点から、料金見直しのサイクルを4年ごとと決めているので、駐車場以外についても2012年度からの改定を目指しているが、経済状況等を考え慎重に改定するかどうか見極める必要があると考えている。

府営水道を大阪広域水道企業団が引継ぐまでに府の責任で淀川水系水利権の許可更新を行うべき

質問 大阪府は淀川から水を取って浄水処理し、府内市町村に供給している。しかし、大戸川ダム(津市)周辺整備の下流負担金をめぐって大阪府と滋賀県が対立し、滋賀県の同意が得られないため、2007年度末の許可期限を過ぎたのに、淀川水系の水利権許可更新ができていない。2008年度以降、大阪府は淀川から無許可取水状態になっており、このままでは企業団も

無許可で水を取らざる得ない。企業団が大阪府から事業を引継ぐまでに許可更新されるよう、府が解決すべきではないか？

回答【水道事業管理者】9月にも大阪府と滋賀県の話し合いがもたれたが、まだ解決できていない。「**12月にも話し合いを持ち、解決できるよう努める**」と大阪府水道事業管理者から聞いている。

*大阪広域水道企業団とは、これまで大阪府水道部が行ってきた用水供給事業を引継ぐため、府から水を購入してきた大阪府内42市町村(大阪市を除く)が結成する企業団で、「水道用水供給事業の経営」「水道事業の受託・技術支援」「工業用水道事業の経営」を行う。2011年4月に事業開始するため、市町村議会での可決を経て府知事の設立許可を受け、11月に設立する予定。府水道事業資産は企業団に無償譲渡される。

すいた市民自治会派からの要望

許可更新が終わっていない水利権を大阪府から企業団が引継ぐわけにいかない。大阪府の責任において早期解決を果たされることを吹田市から大阪府に申し入れ、この件に関して企業団に不利益を負わせないことの確認を大阪府からとることを求める。

学習会「公立病院の必要性と抱える課題」開催

いま吹田市では、市民病院の建て替え計画が検討され、議会でも特別委員会を設置することになりました。

9月24日、すいた市民自治主催で学習会を開催し、議員や多くの関係者にもご参加をいただきました。

講師は、NPO法人「公的病院を良くする会」理事長、金井博基氏。同法人は京都府や兵庫県を中心に病院の経営改善や分析に実績を上げておられ、この日の講座も実務的なお話を中心に好評でした。

以下に講演要旨の一部を掲載いたします。

<一般論として>

- 経済性と公共性のバランス。
- 民間病院と重複する機能は不要。
- 住民への情報開示がもっと必要。
- 行政の長との認識の合致。
- レセプトや国保会計情報を活用し、病院の

市民貢献度を検討せよ。

<建て替えについての留意点>

- 必要なのは立派な建物ではなく、機能。
- 近隣の公立病院との違い、付加価値をどう付けるか。
- 公立病院の建設コストは高い。建設費が高ければ、その後の維持費も高くつく。
- 過重な建設費負担は、医者など働くものの意欲をそぐ。(1床1千万円以下が望ましい)。結果として必要な医師や看護師が確保できない。
- 建設後の運営主体の検討。「民間譲渡」「公営企業法一部適用か全部適用か」「独立行政法人」「指定管理者」「広域連携」「PFI事業」など。

「すいた市民自治」では、市民病院の建設については、建て替えありきではなく、必要な医療行政とは何か、を基に追求します。

副議長席から見た風景(西川たけお)

9月議会は、8日から始まり、執行部の提案説明、議会の代表質問、議員の質問と続き、委員会を経て29日の討論・採決で締めくくられました。

この議会では、大阪広域水道事業団設置に関する協議や、一般会計補正予算の提案などがありました。補正予算では、山田第一小学校校舎改築と並んで毎日放送跡地に計画されている(仮称)千里丘北小学校建設事業に係る設計委託が提案され、活発な論議がされました。また、同じ文教関連予算では、「まちかど子育て絵本館事業」や小中一貫校についても論議がありました。商工振興策では、「すいたスマイル商品券事業」も質疑が交わされました。

また、一般会計・特別会計や企業会計の決算の提案もあり、9月議会閉会後も継続して審査されます。

さて、こうした市長からの提案を受けた議会とは別に、議会が自らをどう改革していくかを論議する場もあります。あまりなじみがないかも知れませんが、議会運営委員会といいます。議会について検討課題はたくさんありますが、最近の議会運営委員会では、議会を市民にもっと知っていただく方策として、本会議の放映について、また、活発な議会討論を行うための方策として、議場の質問席を改装するかどうか、さらには現行の各会派の質問時間について見直すかどうか、などについての小協議会(委員長：いけぶち)が持たれることとなりました。

議会の中継や録画は以前からも大きな課題でしたが、多額のコストや関連する諸課題とのかねあいもあり、なかなか前へ進みませんでした。

課題山積ですが、より市民に近い議会への一步を踏み出しました。

※表題の副議長席というのは現実にはありません。

議会や市政について、皆様からのご意見をお待ちしています。